

令和6年度第1回広島市食育推進会議 会議要旨

1 開催日時

令和6年11月11日（月） 15:00～16:30

2 開催場所

広島市役所14階 第7会議室

3 出席者

(1) 委員（15名）

渡部議長（副会長）、川崎委員、高蔵委員、下條委員、細原委員、元廣委員、福田委員、谷迫委員、迫本委員、田中委員、北原委員、畑田委員、加納委員、重藤委員、渡邊委員

(2) 事務局（17名）

【健康福祉局保健部】保健医療担当局長、保健部長、参与(事)健康推進課長、医務監(事)歯科保健担当課長、健康推進課職員4名、【市民局】生涯学習課長、【こども未来局】こども未来調整課主事（代理）、幼保企画課専門員（代理）、こども青少年支援部母子保健担当課長、【環境局】環境政策課長補佐（代理）、【経済観光局農林水産部】農政課長、水産課長、【教育委員会学校教育部】健康教育課長、指導第一課長

(3) オブザーバー

広島県健康福祉局健康づくり推進課

4 公開・非公開の別

公開

5 報道関係者・傍聴人の人数

0人

6 議事

- (1) 第4次広島市食育推進計画について
- (2) 第4次広島市食育推進計画の中間評価について
- (3) 評価指標ごとの今後の課題について
- (4) 中間評価を踏まえた重点取組について（案）
- (5) 今後のスケジュールについて

7 配付資料

- 資料1 第4次広島市食育推進計画について
資料2 第4次広島市食育推進計画の中間評価について
資料3 評価指標ごとの今後の課題について
資料4 中間評価を踏まえた重点取組について（案）
資料5 今後のスケジュールについて
参考資料1 第4次広島市食育推進計画（概要版）
参考資料2 令和5年度食育に関する調査結果報告書
○ 広島市食育推進会議条例

8 会議要旨

(1) 第4次広島市食育推進計画について

事務局

議事(1)について、資料1に基づき説明

(2) 第4次広島市食育推進計画の中間評価について

事務局

議事(2)について、資料2に基づき説明

重藤委員

目標値を下回っている指標が多いが、全国等と比較すると高いと判断できる指標もあるのでないか。比較することで正しい評価をすることもできる。

事務局

本市の多くの目標値は、国の第4次食育推進基本計画の目標値を参考に設定している。目標値を達成していない項目が多い状況を踏まえて、目標値を下げることなく、引き続き目標を達成するための取組を進めていきたいと考えている。

議長（副会長）

目標値については、見直しを行わず、最終評価まで、引き続き取り組むということでよいか。
（異議なし）

(3) 評価指標ごとの今後の課題について

事務局

議事(3)について、資料3に基づき説明

(4) 中間評価を踏まえた重点取組について（案）

事務局

議事(4)について、資料4に基づき説明
（意見交換）

田中委員

- ・スーパーマーケットでは、若者向けの簡単レシピ等を店頭で配布することができる。簡単レシピについては、例えば、市販の合わせ調味料を活用することで簡単に野菜をたくさん摂取することができるなど、具体的な実践方法等を掲載するとよいのではないか。
- ・フードロス削減については、農林水産省の「てまえどり」ステッカーをスーパーマーケットで掲示して普及している。また、スーパーマーケットには、フードバンクポストが設置されており、家庭から、賞味期限が1か月以上残っている物を投入してもらい、こども食堂や慈善団体に届けるといった活動を積極的に行っている。

元廣委員

広島県栄養士会では、依頼を受けて食育セミナーやレシピ提供等を行っている。また、広島県栄養ケアステーションに問合せがあれば、費用がかかることはあるが、レシピの提案等を行う事業も行っている。

川崎委員

小、中、高校生については、朝御飯を食べることがかなり浸透してるようであるが、大学生になると、朝早く学校に行く必要がある際は、朝食を食べていない現状がある。

迫本委員

- ・スーパーマーケットでも、店頭でのレシピ配布は積極的に行っているが、お客様の傾向として、以前はスーパーマーケットに来てから今日のレシピを決めるという人が多かったが、最近では、SNSを見る等 レシピを決めてから来店する人が多いため、店頭でのレシピ配布が減っているように感じる。
- ・栄養面も大切であるが、並んだ料理や、生活スタイル等のライフスタイルが“カッコいい”というところが、レシピを選ぶ選択肢の一つになってきている。今の学生たちには、朝食を食べることが“カッコいい”という方が心に響くように思う。
- ・「朝食を食べる」ことについて、シリアル等はタイムパフォーマンス的にも若者によく響くが、簡単にできる朝食レシピについては苦戦をしている状況である。SNSでのレシピ発信等と併せて、若者への伝え方を検討していかなければいけないと感じている。

福田委員

- ・地元の農業者としては、スーパーマーケット等で“ひろしまそだち”の野菜を積極的に店頭で並べていただきたい。
- ・”ひろしまそだち”の認知度を上げていく上で、学校の教育現場において、食育とともに農育を推進していく必要があると考えている。広島は食育は頑張っているが農育が遅れているように感じる。
- ・農業の体験授業は、農業の現状について知る機会となる。広島市のような中山間地域の農業が危機的状態にあることをこどもたちに伝え、次世代の広島の農業の担い手を育てていかなければいけないと思う。

事務局

- ・教育委員会、農政課、各区農林課及び市の関係者が連携して、学校給食における地場産物活用推進のための担当者会議を開催し、学校給食への地元農産物の積極的な活用に取り組んでいる。
- ・農政課や各区農林課と連携し、地元農家の協力を得て、祇園パセリ、戸山産のタマネギ、白木産のナス等を学校給食に使用したり、こどもたちに、生産者の顔や畑の様子などを写真入り資料で紹介するといった食育の取組を推進している。

事務局

- ・農育については、小学3年生から広島市の風土について学習する中で、広島菜を中心とした農作物の学習を行っている。
- ・最近では、地域の農家の方とともに、教育課程や教育内容を作成することに取り組んでいる。例えば白木地区では、地域の農家の方と野菜を育てて販売し、値段のつけ方等を自分たちで考えるといった学習を始めている。
- ・このような取組は多くの学校でできるわけではないが、できる部分から、地域の方、学校運営協議会に積極的に関わっていただきながら取り組んでいきたい。

福田委員

- ・ こどもたちは、自分で体験したことが心に刻まれると思うので、農業の現場を積極的に見せてほしい。その中で、農業という仕事はカッコいいと思う子が1人でも出てくれればいい。

事務局

- ・ 食農推進事業では、東区・南区の街頭や区役所内において、植物の成長過程をいつでも見ることができる農作物の展示栽培を行っている。
- ・ 小学校の食農は、市職員や生産者が小学校に出向き、水稻の栽培等の体験学習の食農授業を行っている。
- ・ 生産者と一緒に米を栽培するイベントや、生産者と交流しながら収穫体験等を行う地産地消ツアー等を開催し、まずは農業を知って理解してもらう取組を行っている。

下條委員

- ・ 中学2年生を対象に小松菜農家で、土壌の成分等の授業をした後、実際に収穫や梱包を行うといった職業体験を行っている。こういったあまり知られていない学校独自の取組をブランディングする人がいれば、もっと広がっていくのではないかと思う。
- ・ C.(シードット)という学生団体は、農家で廃棄される野菜を、希望する学生に配付するといったフードバンクの取組を行っている。このような活動をしている団体等に対して、朝食の取組を展開し、これに付随して、若者が「カッコいいな」と思うような、キャッチフレーズ等をブランディングしていくのがいいのではないかと思う。

議長（副会長）

今回、提案のあった中間評価を踏まえた重点取組については、市民に分かりやすい「3つのわ」について、取り組むことが示された。本会議が取組を広げていくきっかけとなればよいと思う。

- (5) 今後のスケジュールについて

事務局

議事(5)について、資料5に基づき説明

- (6) 会議全体を通しての意見について

下條委員

中学2年生の時に農家で職業体験をしたこどもが、体験後に「将来農家になりたい。」と言って、農業高校に進学した事例があった。

議長（副会長）

全市的に、このように体験を増やせるようになれば良いと思う。また、基本方針にある「全市一体となった広島らしい食育推進運動の展開」が進むことを願っている。

畑田委員

- ・ スーパーマーケットに掲示されている学校給食の献立を見て、こどもたちが「今日これを食べた」等、家族で会話している様子が見られる。掲示物に生産者や“ひろしまそだち”に関することを書き添えて情報提供すれば、関心を持ってもらえると思う。
- ・ こども食堂がこどもだけではなく、近所の大人の交流の場となる等、変化していると感じており、そういった場面においても、色々協力したいと思っている。

重藤委員

特定保健指導の資料には、フレイル予防に関するものがあるが、広島市食育推進計画においては、フレイル予防について取り入れていないのか。

事務局

広島市食育推進計画において、高齢期のフレイル予防についての文言は具体的には入っていないが、高齢期においては、3食食べることや、主食・主菜・副菜を組合せて食べることがとても重要である。高齢期の食育を進めるにあたっては、フレイル予防も併せて進めていく必要があると考えている。

議長（副会長）

本日の議論を踏まえて今後も充実した食育の取組ができるように、引き続き、皆様方の御協力をお願いしたい。

事務局

活発な御意見をいただき感謝する。次回は2月上旬に開催する予定であるため、よろしくお願いしたい。